

馬 埋蔵文化財最新発掘調査情報 馬

◆朝霞市では、現在69か所の遺跡が存在しています。

川や緑が多く都心にも近い朝霞市においては、宅地造成やマンション建設など大規模開発工事が多いため、記録保存のための発掘調査が数多く行われています。そのなかで、最新の調査成果をお伝えします。

ねぎしどおりだいさいせいせき 根岸通第三遺跡第2地点

調査地：朝霞市根岸台三丁目地内

期間：令和2年5月21日～6月18日

調査面積：260.42㎡

◆今回の調査では、土坑30基、溝跡2条、ピット19基が確認されました。

遺物は、縄文土器、土師器、須恵器、素焼土器、陶磁器、石器、古銭が出土しました。

調査地点の全体にわたって現在までの間の土木工事によりひどく壊されており、遺構の性格や時期等を判断するのが非常に難しい調査でした。

唯一、時期を特定できたのは中世の陶磁器片が出土した土坑だけでした。同様の土坑が、隣接する第1地点でも確認されていることから、当地点一帯に、かつて生活の営みがあったことは推測できますが、この土坑が何のために掘られたものかは、今のところ不明です。

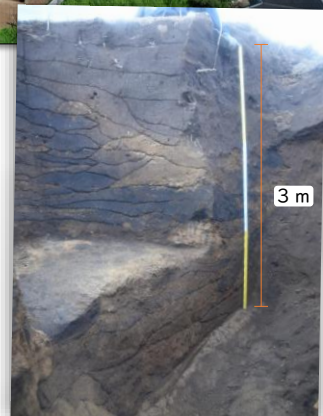
まだ2地点目の発掘調査ということもあり、現時点では遺跡の全体像を捉えるのが非常に難しい状態ですが、今後周辺で発掘調査が実施されれば、新しい発見があるかもしれません。



根岸通第三遺跡第2地点 空撮



出土した素焼土器（かわらけ）



中世と考えられる土坑の断面

縄文時代の集石土坑



住居跡の推定ライン
(赤ライン)



住居内で出土した土師器甕

はけた・なかどおりいせき ハケタ・中通遺跡第10地点

調査地：朝霞市宮戸四丁目地内

期間：令和3年3月15日～3月30日

調査面積：27.00㎡

◆今回の調査では、縄文時代の集石土坑1基、竪穴住居跡1軒、ピット12基等が確認されました。

遺物は、土師器が出土しました。

竪穴住居跡は、住居跡内から出土した遺物から古墳時代後期の住居跡であることが分かりました。同遺跡第8地点、第9地点でも、同じ時期の住居跡が数多く見つまっていることから、古墳時代後期には当遺跡一帯に集落が存在し、人々が生活を営んでいたことが推測できます。

一つの発掘調査で
色々なことがわかる
こともあれば、そうで
ないこともあるんだね。
新しい発見、楽しみ
だな～。





人部・峽遺跡第15地点 空撮



にんべ・はけいせき 人部・峽遺跡第15地点

調査地：朝霞市宮戸四丁目地内

期間：令和2年12月14日～令和3年3月12日

調査面積：710.516㎡

◆今回の調査では、竪穴住居跡1軒、屋外炉2基、土坑80基、ピット98基、地下ムロ4基、井戸2基等が確認されました。

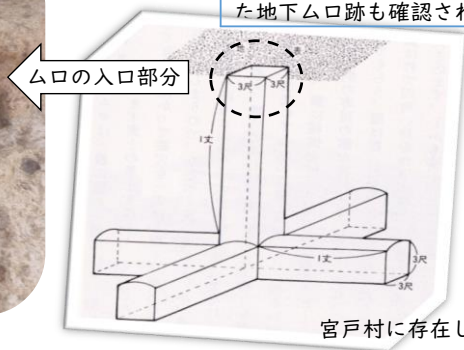
遺物は、旧石器時代の石器・礫、縄文土器、埴輪、土師器、須恵器、陶磁器、瓦質土器、土師質土器、ガラス製品、金属製品、石製品、瓦が出土しました。

この調査では、確認された遺構・遺構の年代が非常に幅広く、古い時代では、旧石器時代の石器が出土し、縄文時代早期と考えられる竪穴住居跡と屋外炉が確認されています。また、明確な遺構は確認されていませんが、埴輪や土師器・須恵器といった古墳時代～平安時代の遺物も出土しています。さらに、近世（江戸時代）以降の陶磁器が出土しており、また、朝霞市内の農家がかつてよく見られた地下ムロ跡も確認されています。ムロは埋められた状態になっていましたが、中からは、近世から近代（戦前・戦中）の遺物が出土しています。

当調査地点周辺は、約16,000年にもわたる時代の移り変わりとともに様々な形で利用されてきたことが伺えます。



検出されたムロの入口



宮戸村に存在したムロの構造図（朝霞市史より）



ふるやしきいせき 古屋敷遺跡第2地点

調査地：朝霞市溝沼七丁目地内

期間：令和3年3月1日～3月31日

調査面積：123.08㎡

◆今回の調査では、溝跡4条、井戸跡4基、ピット44基等が確認されました。

遺物は、縄文土器、須恵器、素焼土器、陶器、石器、石製品、木製品が出土しました。

溝跡は、第1地点で確認された溝跡に連続するもので、上幅約6m・下幅約2.5m・深さ約1.3m、断面は逆台形をしており、調査区を南北に縦断する形で検出しました。また、溝の底や底に近い壁面全体に、溝を掘った時にできたと思われる工具痕が残っていました。

このような大きな溝の役割は何だったのでしょうか。

古屋敷遺跡も2地点目の発掘調査であり、この溝跡がどのように遺跡内を廻っているかは不明です。今後、周辺で発掘調査が実施され、この溝跡の続きが確認できれば、当地域の歴史が少しずつ解明できてくるものと思われます。



検出された溝跡

溝の底に残っていた工具の痕

